

商船三井 自動車運搬船「BELUGA ACE」の見学会を実施
2018 年「海の日」行事～海と日本プロジェクト in 晴海～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や海事施設の見学会等を「船ってサイコ～」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力を入れております。

今般、同プロジェクトの一環として、商船三井のご協力のもと、7月16日(月・祝)「海の日」に東京・晴海ふ頭にて開催された「海と日本プロジェクト in 晴海」の機会を捉え、自動車運搬船「BELUGA ACE」(最大積載数 6800 台)の見学会を開催し、抽選にて当選した小中学生の親子約 360 名が参加しました。



参加者は、まず本船の概要や船員の役割等についての説明を受けた後に、全長約 200m・高さ 50mの巨大な船に船尾の積載口から乗船しました。船内では、天井の高さを自由に調節することで大型車や重機なども運べる構造であること等の説明を受けながら、操舵室や機関制御室、船長室等居住区を見学したほか、自動車を前後 30cm、左右 10cm に正確に積み付ける実演を間近で見学しました。

操舵室では、同社船長・航海士が船を操縦する機器類や海図等の説明をするとともに、双眼鏡や舵輪に触れて写真撮影をするなど、参加者は思い思いの時間を過ごしました。機関制御室では、同社の機関長・機関士からメインエンジンや発電機の仕組みの説明を受けた後に、実際に発電機の操作を体験し、歓声があがりました。見学会では、乗り込んでいた船員達が参加者からのたくさんの質問に答えるなど交流を深め、普段触れることのない海運・船員の世界に親しむ濃密な時間となりました。

また、当協会は同日に日本海事広報協会と共催で、同会場内にてシミュレータで東京港内でのリアルな操船を体験したり、船の絵等のオリジナル缶バッジづくりを行っていただくブースを出展し、船に親しむお子様の姿が多く見られました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

